

城崎国際アートセンター 2020年度アーティスト・イン・レジデンス プログラム選考結果

2020 年度に城崎国際アートセンターで創作活動を行うアーティスト・イン・レジデンス・プログラムが決定したのでお知らせする。

1 募集した期間

2019年4月4日（木）～6月9日（日）

2 応募総数

80 件 (23 カ国)

日本 38 件、韓国2件、タイ2件、マレーシア2件、台湾1件、オーストラリア3件、ニュージーランド2件、アメリカ6件、カナダ2件、フランス3件、イスラエル2件、イタリア2件、ノルウェー2件、アイスランド1件、アイルランド1件、イギリス1件、エストニア1件、オランダ1件、スイス1件、スウェーデン1件、スペイン1件、ハンガリー1件、ブラジル1件、国籍不明3件

※ 国名は代表者の国籍による。

3 選考方法

外部選考委員 4 人と城崎国際アートセンター職員で構成された選考委員会で、書類審査により選考。舞台芸術を中心とした芸術の創造に関わる活動を「実現性」「優れた成果が期待できる」観点から審査した。

《参考》選考基準／選考委員の詳細

選考基準

- 実現性が確保されている活動
- 以下のいずれかの点で優れた成果を期待できる活動

【波及力】 滞在中に行う芸術文化活動を豊岡・城崎の名と共に国内外に発信する展望を持つ作品や活動。

【国際性】 複数の国や言語にまたがって創作を行う作品や活動。

【地域性】 豊岡・城崎の地域資源の活用や社会課題へのアプローチを通して創作を行う作品や活動。

【革新性】 他分野との協働など、新たな発想や手法によって、舞台芸術が社会に果たすこれまでにない役割や可能性を示す作品や活動。

【将来性】 これからの収斂^{しゅうれん}によって未来の芸術表現にインパクトを与えることが期待される作品や活動。

選考委員

氏名	役職等
平田オリザ	劇作家、演出家、青年団主宰、豊岡市芸術文化参与 城崎国際アートセンター芸術監督
佐東範一	NPO 法人 Japan Contemporary Dance Network 代表 城崎国際アートセンター・アドバイザー
木ノ下智恵子	アートプロデューサー、大阪大学共創機構社学共創本部 (兼 21 世紀懐徳堂)准教授
相馬千秋	アートプロデューサー、NPO 法人芸術公社 代表理事
田口幹也	城崎国際アートセンター 館長
吉田雄一郎	城崎国際アートセンター プログラムディレクター

4 2020年度の選考結果

採択件数 17件（6カ国）

[日本12件、カナダ1件、オーストラリア1件、マレーシア1件、イギリス1件、韓国+日本+オーストラリアの共同1件（計6カ国）]

- ※ 国名は代表者の国籍による。
- ※ 上記17件に加えて、豊岡演劇祭プログラムとアドバイザー推薦プログラム2件を実施予定。
- ※ プログラムの概要は、別紙「プログラム一覧」のとおり。

5 選考結果の特色

- (1) 応募総数は2019年度の68件から2020年度80件に増加。年々少しづつ増加し、質の高い応募が安定して寄せられている。海外からの応募は42件。国際的にも評価、認知されていることが分かる。

応募状況

	件数	国別			国別
		国内	海外	不明	
2016年度	40件	20件	20件	—	13カ国
2017年度	43件	32件	11件	—	8カ国
2018年度	94件	42件	52件	—	25カ国
2019年度	68件	30件	38件	—	20カ国
2020年度	80件	38件	42件	3件	23カ国

- (2) 分野別では、演劇5件(No.2,5,9,16,17)、ダンス4件(No.3,4,11,12)、音楽1件(No.10)、その他、複合的な表現7件(No.1,6,7,8,13,14,15)となり、分野を横断した活動やプロジェクトが多く採択された。
- (3) 滞在期間中には、制作中の作品の試演会やアーティストトーク、参加型のワークショップなど、無料で参加できる地域交流プログラムを実施する。市民がアーティストと交流し、芸術活動に触れることのできる機会を積極的に創出する。
- (4) 選考結果の講評は、別紙「城崎国際アートセンター選考結果」のとおり。

〔問合せ〕 豊岡市環境経済部大交流課 TEL 0796-21-9016
事業内容については
城崎国際アートセンター Tel0796-32-3888